

令和7年11月12日
子ども・若者部
子ども・若者支援課

世田谷地域における青少年交流センターの設置について

1 主旨

『世田谷区子ども・若者総合計画（第3期）』では、各地域に青少年交流センター（以下、「センター」と言う。）を整備することを定めている。

今般、センターの未整備地域（世田谷、烏山）のうち、世田谷地域について、就労や福祉の相談機関や、文化施設を始めとした多様な社会資源、また商店街等の地域資源等と連携した取組みが実現でき、かつ令和9年度中の整備が見込める、三軒茶屋駅至近の建物（STKハイツ）での整備に向け、具体的な検討に着手する。

2 現状と課題等

これまで既存の3センターでは、多様な関係機関との連携のもと、それぞれの立地や施設特性を活かしながら、主に中学生以上の若者を対象に安心して過ごせる居場所や、自立に向けた主体性を育むための事業等を展開してきた。

一方で、3センター全体の利用者のうち、小学生が一番多く約3割を占めるなど、年代が上がるにつれて利用者数が減少する傾向にある。進学や就職等で環境が変化し、行政とのつながりも希薄になる中で、孤立しがちな高校生世代以上の若者たちが気軽に集える場が必要となっている。

このため、世田谷地域のセンターは、若者と社会をつなぐ取組みや様々な支援機関・地域団体との連携や協働を通じて、高校生世代以上の若者がより一層主役となり、様々な人やコトとの出会いを通じて地域に色々な頼り先をつくりながら、自己選択・自己決定し、若者自身が社会の真ん中にいると実感できる拠点とすることを目指す。

3 整備方針

（1）整備のエリア

前記の現状と課題等を踏まえ、世田谷地域のセンターは、主に以下の三点を備える三軒茶屋エリアに整備する。

- ① 就労や福祉的相談等の若者支援に関連する社会資源が集積しており、センターとの日常的な連携が可能であること
- ② 鉄道やバス、幹線道路等の結節点であり、若者が通学や通勤の帰りに気軽に立ち寄れる立地であること
- ③ 若者を主な対象としたショップや飲食店等が数多く集まるなど、若者を惹きつける魅力やカルチャーがあること

(2) 整備場所

現在、区が（一財）世田谷トラストまちづくりから賃借している以下の建物を引き続き賃借して整備する。

所在地	世田谷区太子堂4丁目3番1号
用途地域	商業地域
建物概要	名称：STKハイツ 1階～5階の延床面積：872.42㎡ （1階の図書館カウンター 185.11㎡を含む。）

(案内図)



(外観)



(3) センターの基本コンセプト

若者がいつでも気軽に立ち寄ることができ、くつろいだり、楽しんだり、安心して自分らしく過ごすことができる「オアシス」のような居場所を創出するとともに、若者が多様な人と出会い、主体的なチャレンジや地域、社会への参画を、センターのスタッフが「コンシェルジュ」として支えることで、若者が地域や社会とのつながりを通じて、自身のライフスタイルの幅を広げることができるセンターを目指す。

別紙1「基本コンセプト図」

別紙2「機能配置イメージ図」のとおり

(4) 期待できる効果

① 駅に近接する立地を活かした若者への効果的なアプローチができる

STKハイツは三軒茶屋駅至近の立地であり、駅周辺にある就労や福祉等の支援機関との連携がしやすいことは元より、鉄道、バス等の交通結節点とも隣接していることから、区内の広範囲の若者が通学や通勤の帰りに気軽に立ち寄ることが可能である。

ここに、飲食や様々なアクティビティ、自己啓発やリラックスができる空間等、若者を惹きつける環境を整え、若者が集うセンターとすることで、多様な支援機関とも連携した、若者に対する直接的かつ効果的なアプローチを行うことができる。

② 若者が三軒茶屋ならではのカルチャーに身近な環境で触れることができ、まちへの愛着の醸成と発展の原動力の育成につながる

若者を主な対象としたショップや飲食店が数多く存在する商店街等の地域資源や、文化生活情報センター、ホームワークビレッジ等の産業施設、文化芸術・交流施設等と近接していることで、「広域生活・文化拠点」である三軒茶屋ならではのカルチャーに若者が身近に触れることができるとともに、地域の多様な人たちとの出会いや活動を通じて、若者が自身の視野を広げ、ライフプランの選択肢を増やすことができる。

これらを通じて、若者が三軒茶屋のまちやカルチャーに興味関心を持ち、自分たちのホームタウンとして愛着を持つことで、まちの発展の原動力となることにつなげる。

③ 駅周辺でのおでかけひろばや子どもの居場所の整備に加え、多世代交流の拠点ともなる居場所を構築できる

本センターの整備にあわせて、おでかけひろばや子どもの居場所機能を整備することにより、三軒茶屋駅周辺の課題である、乳幼児や小中学生を対象とした施設の不足の解消を進めるとともに、多世代・地域交流スペースも設けることで、若者と多世代の区民とが交流できる拠点とすることができる。

(5) 整備手法（予定）

若者が望むセンターの具体化や開設後の運営がスムーズに実現できるよう、開設準備・整備業務、及び開設後の運営を連続した業務として同じ事業者へ委託して実施する。委託事業者は、プロポーザル方式により選定することとし、今年度中に公告等の選定手続きを実施する。

4 若者主体の検討体制及び取組み（予定）

現在、本年7月からスタートした「ユースカウンスル事業」や、子ども・若者・子育て会議の「若者部会」において、センターに必要な機能や求める役割等に関する検討や意見聴取を行っており、これらの意見を元に「基本コンセプト図」や「機能配置イメージ図」等のブラッシュアップを図る。

来年度以降、整備計画の具体化に向け、若者による検討を集中的に行える体制を組み、基本コンセプト及び機能配置イメージを踏まえた検討や、STKハイツを拠点としたワークショップ等の実施を通じて、センターの設計や運営にその意見を反映する。また、若者が中心となって、センター開設に向けた機運醸成のプレイベントを世田谷地域内で展開する。

5 図書館カウンターとの連携

施設整備にあたっては、現在図書館カウンターのある1階を青少年交流センターの入口（エントランス）とすることや、両施設が連携しそれぞれの魅力を高める取組みを行うことを基本に、教育委員会事務局との調整を進める。

6 今後のスケジュール（予定）

令和8年	2月	子ども・若者施策推進特別委員会（事業者選定等について） 事業者選定プロポーザル公告
	4月	事業者決定
	5月～	若者主体による検討会の開始 設計図の作成及び運営内容の検討
	11月	子ども・若者施策推進特別委員会（検討経過について）
令和9年	2月	子ども・若者施策推進特別委員会（整備等について）
	3月～	プレイベントの実施
	4月～	用途変更申請・内装改修工事・開設準備
令和10年	3月	開設

Oasis

若者がふらっと立ち寄り、安心して
自分らしく過ごすことができる居場所

若者のオアシス

Concierge

若者が多様な人とのつながりを通じて、
ライフスタイルを広げることができる居場所

若者のコンシェルジュ

<若者への効果>

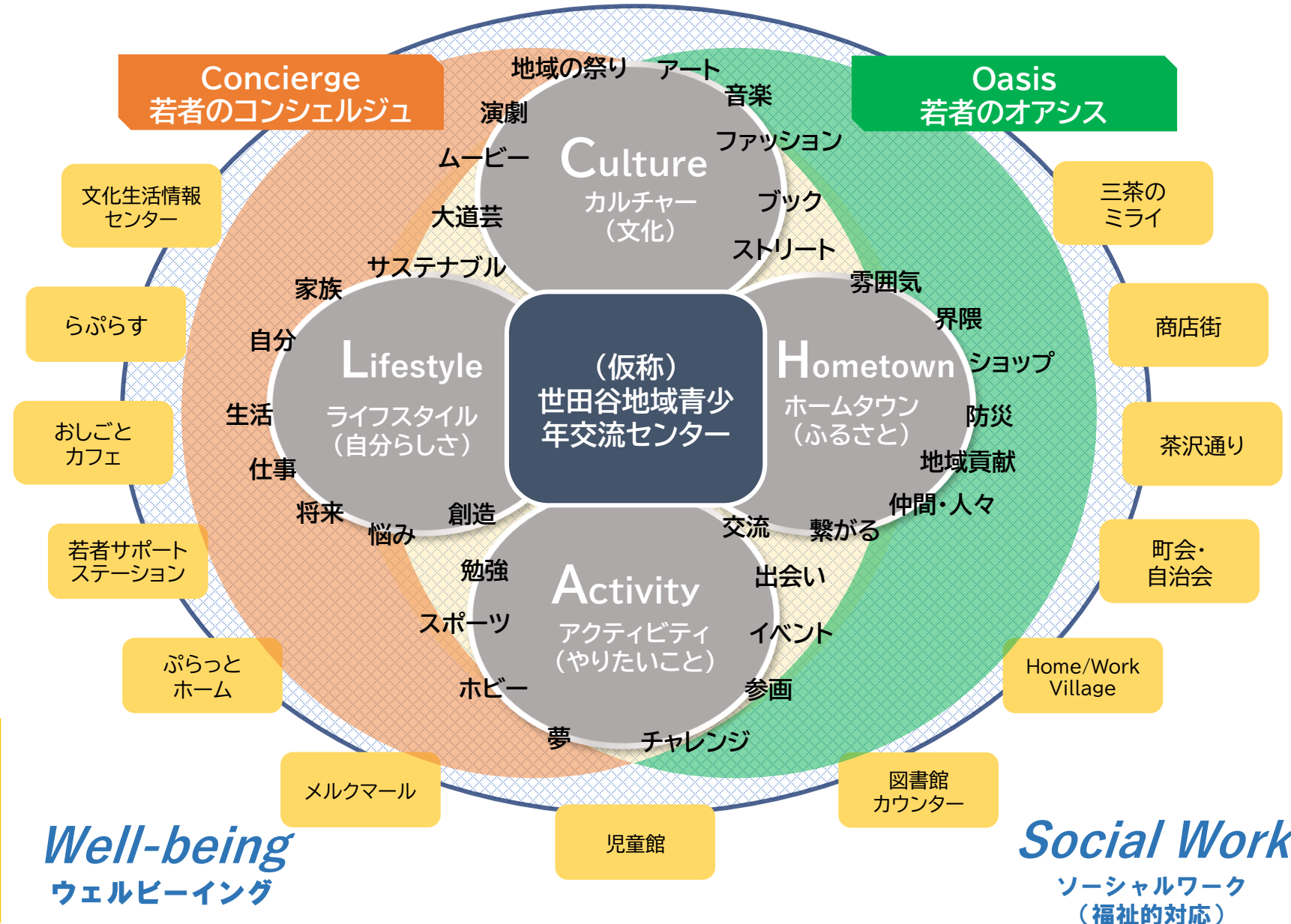
【Oasis】困難に直面した時、自分のことを認めてくれる居場所にいつでも戻ってこれる。

【Concierge】それぞれのライフスタイルを充実させるとともに、地域や社会とのつながりを通じて、主体的な活動ができる。

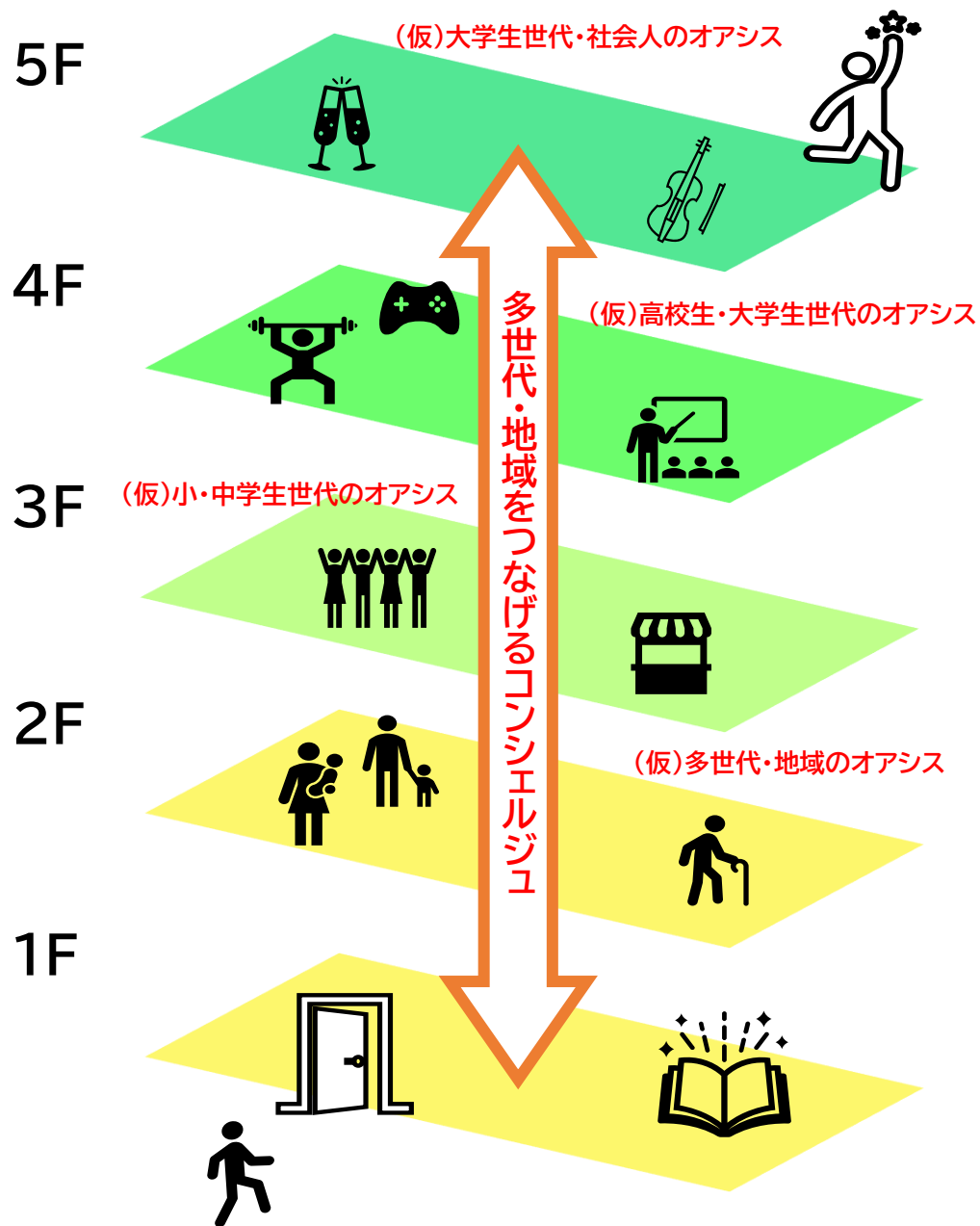
<地域への効果>

◇若者が地域に愛着を持ち、積極的に参画することで「進化し続ける交流のまち」を主体的に実現する。

◇地域の多様な主体とともに、若者が三軒茶屋をより発展させる原動力となる。



※階が分かれている建物の特性を生かし、階ごとの主な対象年代やフロアコンセプトをイメージした、メリハリのある整備を目指す。
(各フロアの対象年代やコンセプトは、今後若者とともに検討)



今後若者とともに検討する機能

主な整備の内容は、施設の利用者であり運営の担い手となる若者とともに検討する。

■想定する機能の例

- ・落ちついて自分らしく過ごせる空間
(ブックラウンジ等)
- ・音楽や表現活動の場
(ライブスペース、ダンススタジオ等)
- ・活動やワークショップの場
(キッチン、フリースペース等)
- ・学びや自己啓発の場(学習スペース、コワーキングスペース等)
- ・運動やアクティビティの場
(ジム、eスポーツ、ボッチャ等)
- ・まちとの交流スペース
(ポップアップショップ等)
- ・自然や緑とのふれあい(ガーデニング等)

必要な機能

- ・総合受付及び事務室
- ・おでかけひろば
- ・多世代・地域交流スペース
- ・カフェスペース

既存の機能

1階 図書館カウンター
(センターと図書館カウンターそれぞれの魅力を高める取組みを行うことを基本に、教育委員会事務局と調整)